



アトリエの中の秘密

本文 70P



私の名前は
「よし子」30才
専業主婦

夫の「トモハル」



娘の「アイ」と
3人暮らし



現状の暮らしに
不満はないけれど



トモハルとは
高校からの
付き合いで
長かったせいかな

今では私のことを
妻ではなく
母親としてしか
見ていない……



フー
大盛りかし

……いいんだけどね……



もろろ
こねらうか？

いいんだけど……



普段履かない
スカートを出したり

トモくん



たまには

女として
見て欲しくて



ちよつと
派手かな...



あははわ
何アレン

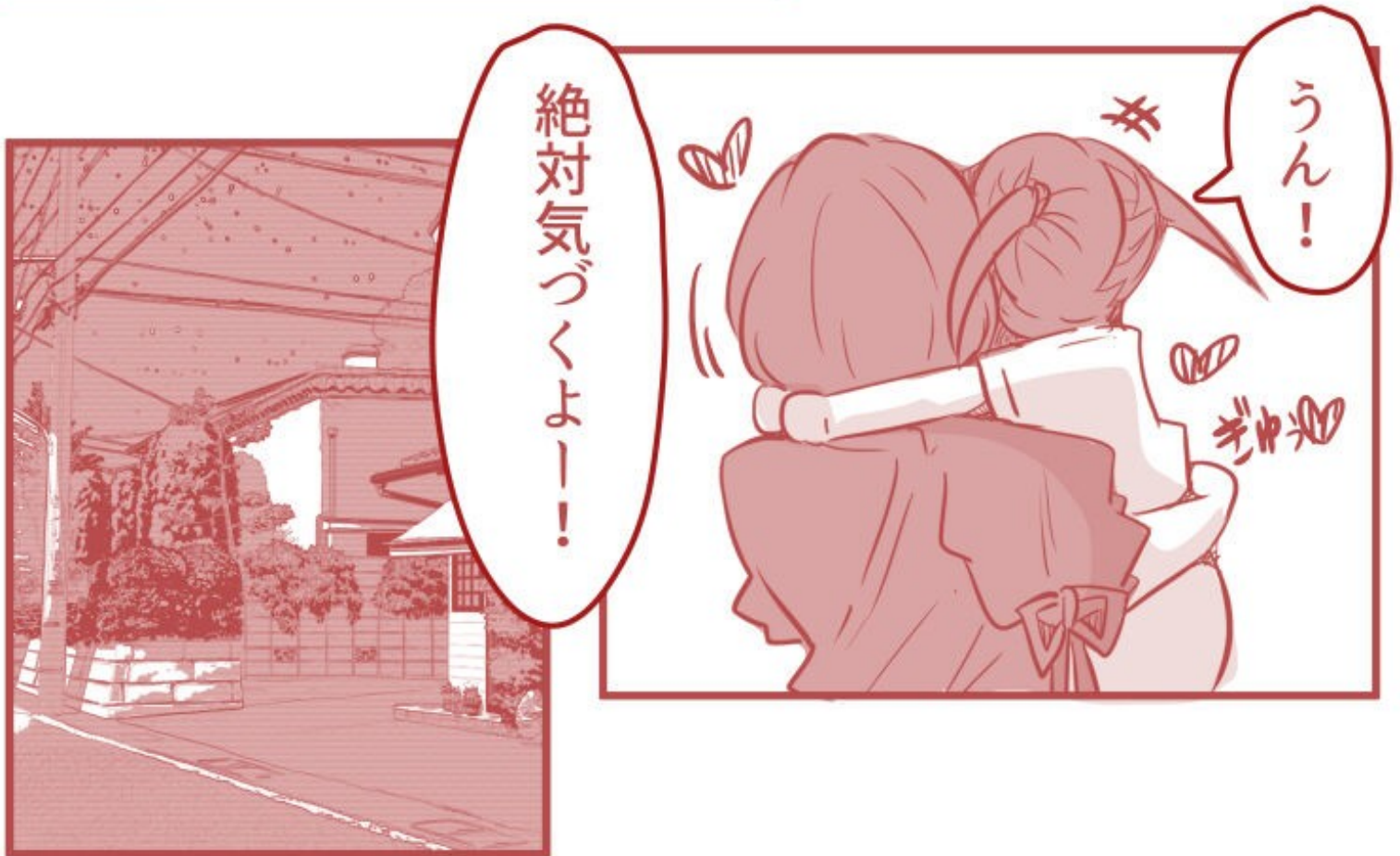
。。。まあ
いいんだけどね

分かってたし...



いや
でも

これくらい
しないと







いいんだけどね……

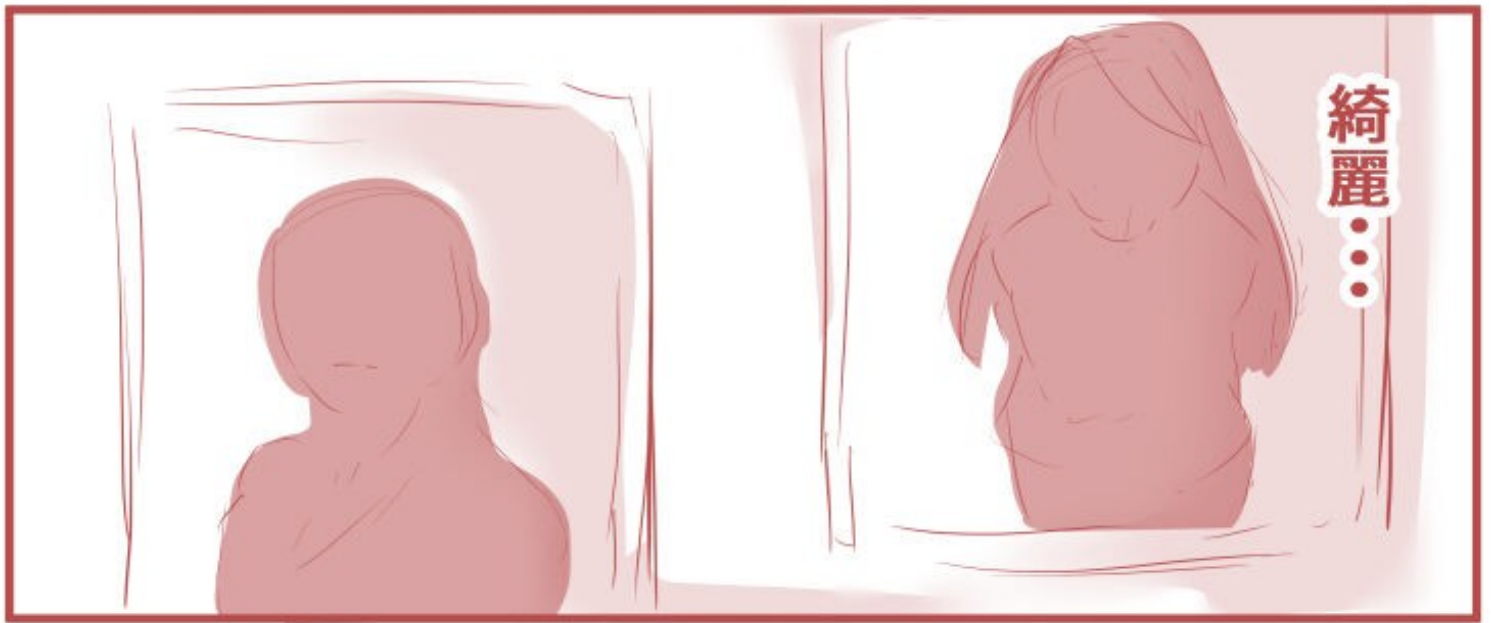


でも……

ちよつと
凹むかな……



はあ……
っ……



綺麗...



へえ...

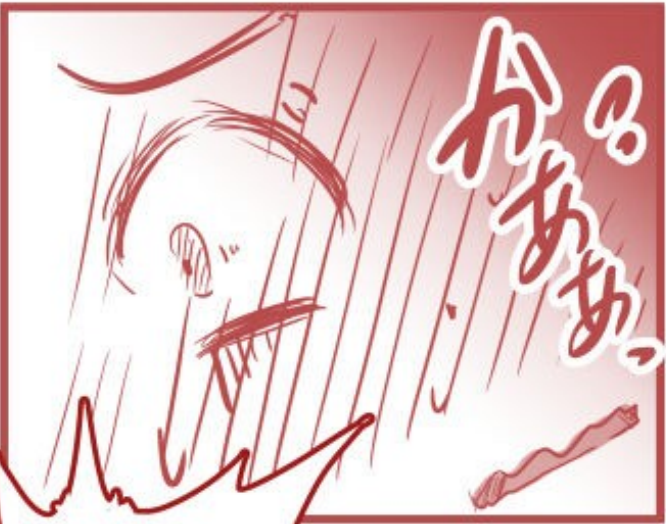


え...

モデル志望の方ですか？

あの...

モデル募集
未経験でも大歓迎!!







綺麗って
言われた...

綺麗...って

はっ!

ドキ...

ドキ

はっ!

ドキ...

綺麗
って!



何
真に受けてるのはよ

じゃ
オムライスに
しようか!

やったー!

お腹すいたー

あんなの
常套句(じょうとうぐ)
に決まってるじゃない



ママー

レク!!

えっ!

はっ!



どうしたの?

何でもないよー
ちよつと
疲れただけ

ん?
ん?

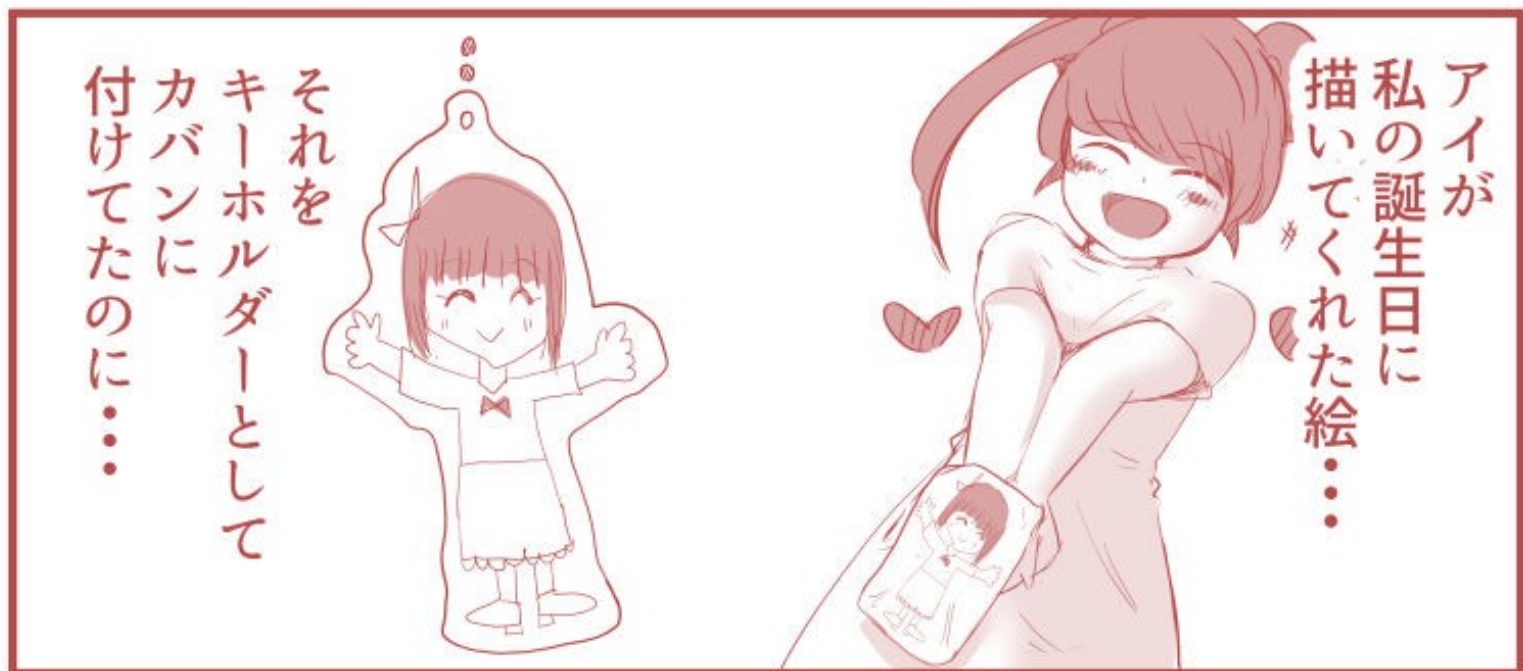


やだ……
どうしよう

外れてる……



あれ……



アイが
私の誕生日に
描いてくれた絵……

それを
キーホルダーとして
カバンに
付けてたのに……



あ……



家を出る
ときには
付いてたし……

後は……





失礼します...



どうぞー
開いてます

ドンドン



あ、
昨日の...

キーホルダー
ありがとうございます
ございました

その……
大事なモノ
だったので……

お子さんの
絵ですか？

……はい

なるほど

あ、たか……

あ……
ありがとうございます
ございます

良かったら
どうぞ
温まりますよ

彼(竹中)の
物腰の柔らかさ
と話しやすさに

私は、時間を忘れ
話し込んでいた……



あっ……
そろそろ
帰ります

他、他

今日は
本当に
ありがとう
ございました

今
凄
い雨
です
よ

え……
本
当……

う
あ
あ……

でも
後1時間
位で
止む
みたい
です
ね







これが…私?…

差し上げますよ

え?!
良いんですか!

もちろん!
是非
受け取って
欲しい

今日も
来ちゃいました♡

この日を境に
私は空き時間を
彼の元で過ごす
ようになっていった…

もうすぐ
仕上がるので
休んでいて下さい



こんにちは……



今日は
スカート
なんですネ

雰囲気
変わって
良いですよ！

是非描かせて
ください

ドクン

ドクン



そこに座って

どうぞしよう……

はい……



夫も気づかない
私の変化を
全部見つけて
くれる……

ネイルも
素敵だ



この人は……





ごめんなさい!
疲れましたよね



あっ!
大丈夫です

配慮が
足りません
でした



つい
よし子さんに
夢中に
なってしまうて



え……あ……

ドキ…



良かったら
お詫びに
軽いマッサージを
させて頂きませんか?



この人は
純粹な気持ちで
言ってくれてるんだ

す、すいません…
そういうつもり
じゃなかったん
ですけど…

不快な気持ちに
させて
しまいましたね…

ちっ
違うんです！
私こそ
ごめんなさい

お願い…
できますか

邪推は
よろう

夫以外の男の人に
触られるのって...



何だろう...



ちよつとだけ
悪いこと
してるみたいで...



ごめんなさい
変な声
出しちゃって...

抑えないで
全部出して
ください

ちよつと
下着が見えて
しますが

少しくらいなら
大丈夫です……



きつと……
見てるよね……

恥ずかしい……

こういう経験
無くて……

かあかあ

やだ……

ドキ

ドキ



だ…
大丈夫です…
続けて下さい…

嫌だったら
言ってく下さい
すぐに
止めますから

続けて下さい…
これじゃ
私がお願ひしてるみたい…

ん…
どんどん内側に
寄ってきてる…

「やめて」って
言わなかったら
どこまでされるの？

ん…

ん…

ん…

あつ!
当たった!

んんん

んんん

凄い...
気持ちいい...

上手い...

もう
ちよつとだけ...

あ...
上がる...



恥ずかしいから
ギリギリで
止めよう

ギリギリ
まで...

あつ!
きちやつた!
止めないと!



たつ...
竹中さ...

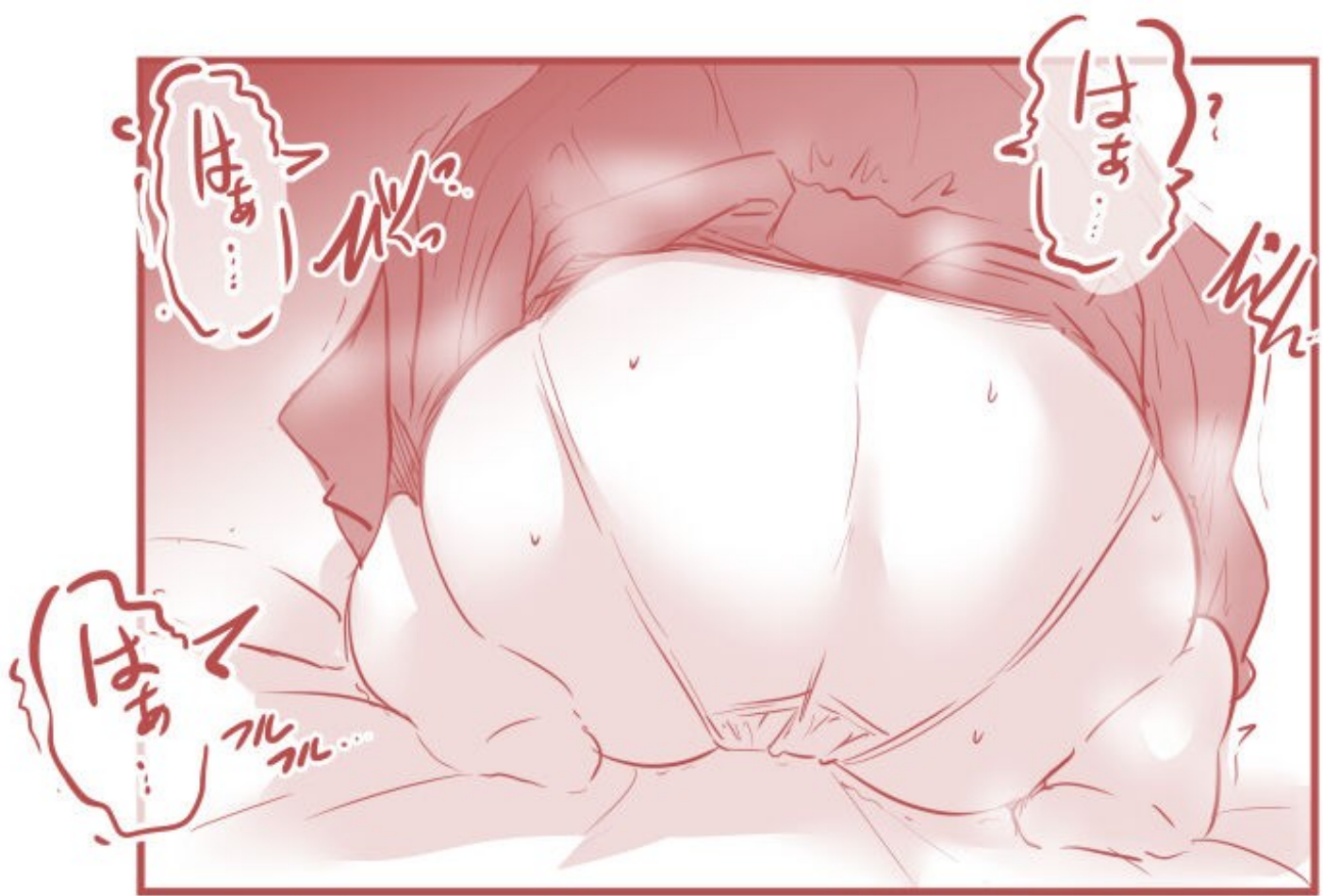
流石にもう...

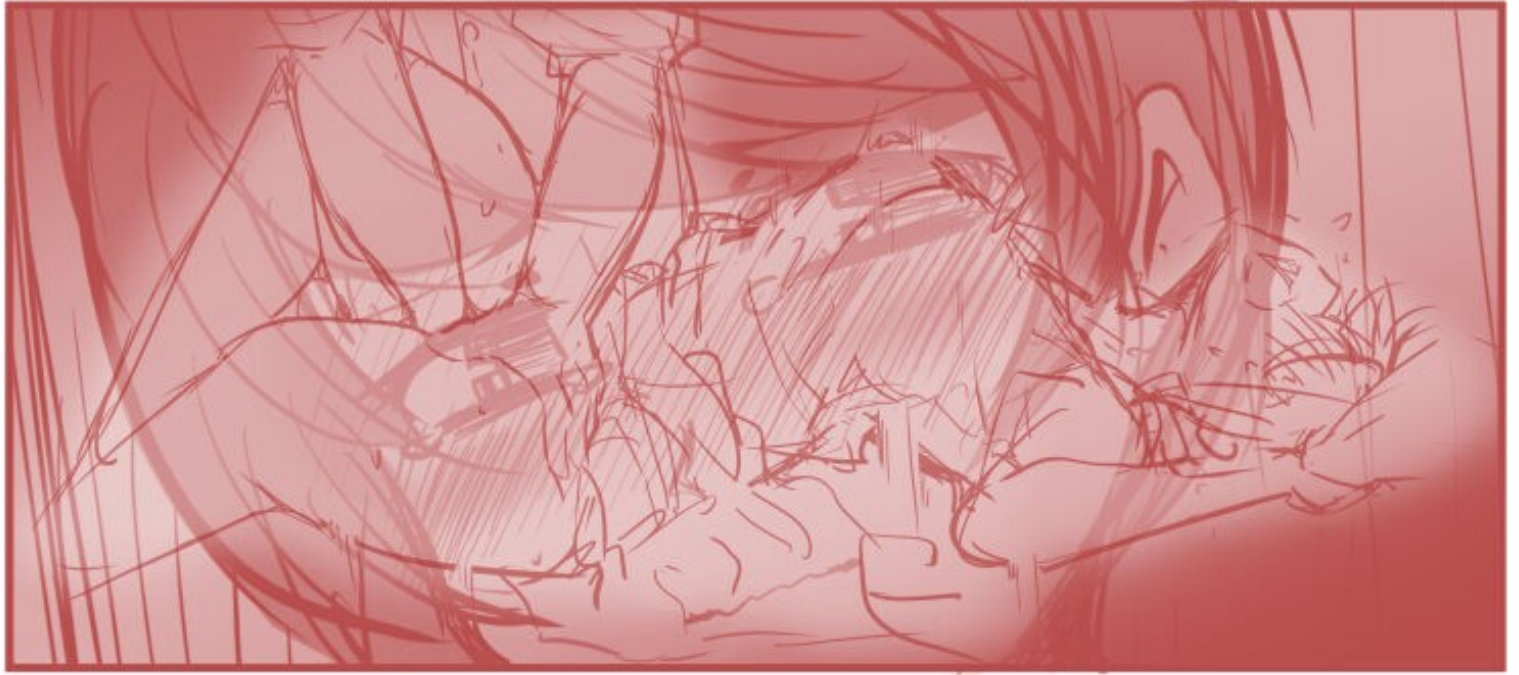
あ...
やばい...

あ...
後少し...だけ

は...は...

やばい!
やばい!
止めよう!





自分でするより
気持ち良かった……

上手かったなあ

あのまま

続けてたら……

エツチ……したのかな

やっぱり

謝った方が

いいよね……

また
考えてる

あれって
竹中さんが
察して、したのかな……

女慣れ
してた……

また
考えてるし……

あの状況で
何で言えば
よかつたのよ！

竹中さん……

マッサージ……

続けてって

言ってた

もんね……

狙われてた？

確かに濡れてて

そういう気分

だつたけどさあ……

私がギリギリで

止めようとしたの

見抜いて

わざと

速くしてきたよね

どんな顔して
会えば良いのよ

あんな姿……

みせちゃつて

私にも……

非は……あるよね

また
考えてる……

足開いて
パンツ見せて

やめ……

もうやめ……

凄い格好

だつたなあ……

また考えてる！

もうっつ！



何してんだる。。。私







……こ
こんにちは……

ひゃん
そう言えば
平日以外って……
初めて来た

も……

あ……

あら
新しい
モデルさん？

次の人が
来るなんて
言ってなかったのに



あー

最近来てるって
言ってた
人妻さんか



いえ
あの…



マツサージで
イツちやつたんだって？

あぁあぁ





えっ!?

いやらしい
メス猫の
ニオイがするわ



こつちから
言わないと
先生は
抱いて
くれないわよ

最初の
1回目は

抱いて欲しくて
来たんでしょ

ちが...
ちが...わた...



頑張っ
てね

ヌードを
お願いしたら
最後は食べて
もらえるから



お久しぶり
です

あれ
よし子さん?



この前は
急に帰ってしまつて……

その後も
全然連絡も入れず
スミマセンでした



良いんですよ
気にしないで
下さい



あのっ!




ドクッ

ドクッ

ドクッ

……



私の
ヌードを
描いて
頂けませんか！



ヌードを
描いて
もらった後……



竹中さんと……
セックスする……
私……
セックスするんだ……



元気も良い

素敵な
乳房だ

フワッ
フワッ

ムギュー♡

ぬ...
脱いじゃった...
本当に...
私...裸...

ドキ

ドキ♡

ウニ♡

んん...

でも
どうして
急にヌードを？





なるほど

それで・・・
毎日ボクを想って
自慰行為をしていた
んですね

どんな
気持ちでした？



ドクン...

ドクン...



ドクン...

夫や娘への背徳感と……
女としての……高揚感……
そんな自分への嫌悪感
もう……ぐちゃぐちゃで
分からないんです……



良いんですよ



よし子さんの
「綺麗なトコロ」も



「醜いトコロ」も



ボクが
全部受け止めて
あげます



竹中さん
お願い……

私を……



私を……
寝取つて下さり

心と体を……
汚して……

そのまま

クリトリスの
「皮むき」を
します

こんなに
大きく
膨らんで...

これでもう
皮が守っては
くれない

お願いっ!
それ続けてっ!

くりくり
やめないで!

イキそう!

イキそう!

まだ我慢
イツちやダメ

力を抜いて……

フイッ

フイッ

フイッ

そう……
全部入った

フイッ

おん!

ゾクゾク

散々
焦らされて

中はもう
仕上がって
ますね



フイッ

ココは
初めてですか

な……
何か変な所
押されてる……

えん!

奥が
熱くなつてく感じ

フイッ

フイッ

フイッ

フイッ

お漏らし
しちやうよおお!



凄く気持ち良い
のにつ!
おしっこも
一緒に上がるっ!

ちゅっ

出ちやう!

速くしたら
出ちやう!

ダメですっ!

本当につ!

出ちやう!





一杯我慢したから
凄く飛びましたね



ボクも
脱がないと...







お...あ...
精子きた...

手で
つぎつぎ!



びびびびびび

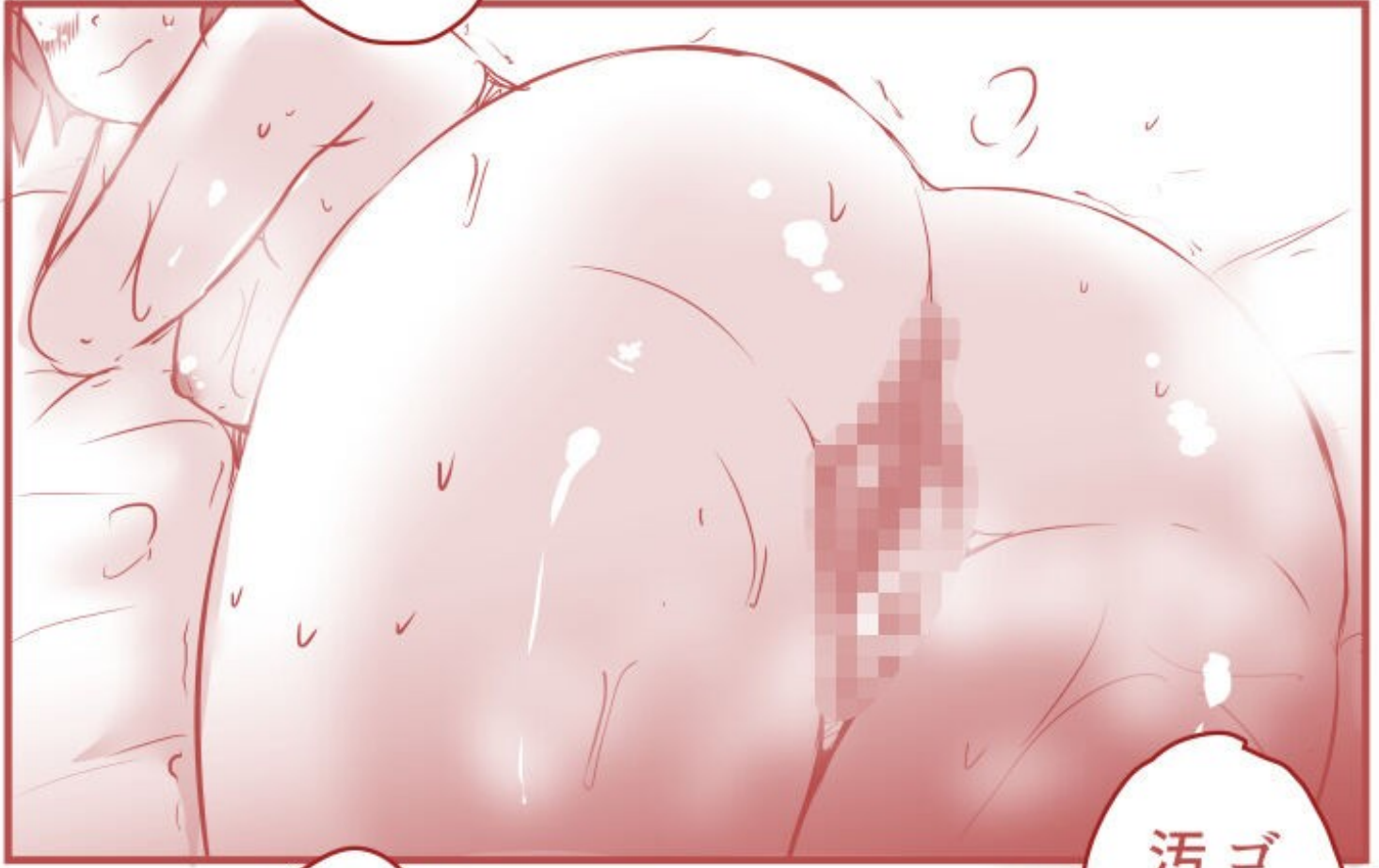
びびびびびび

びびびびびび

びびびびびび



…入れて
ください



ゴム無しで
汚しますよ



良いんですね？



…はい

入れて……♡

これ以上
焦らさないで……

お願い……

やあ……

入れてっ!

欲しいのお

おちんぽ
欲しいのお

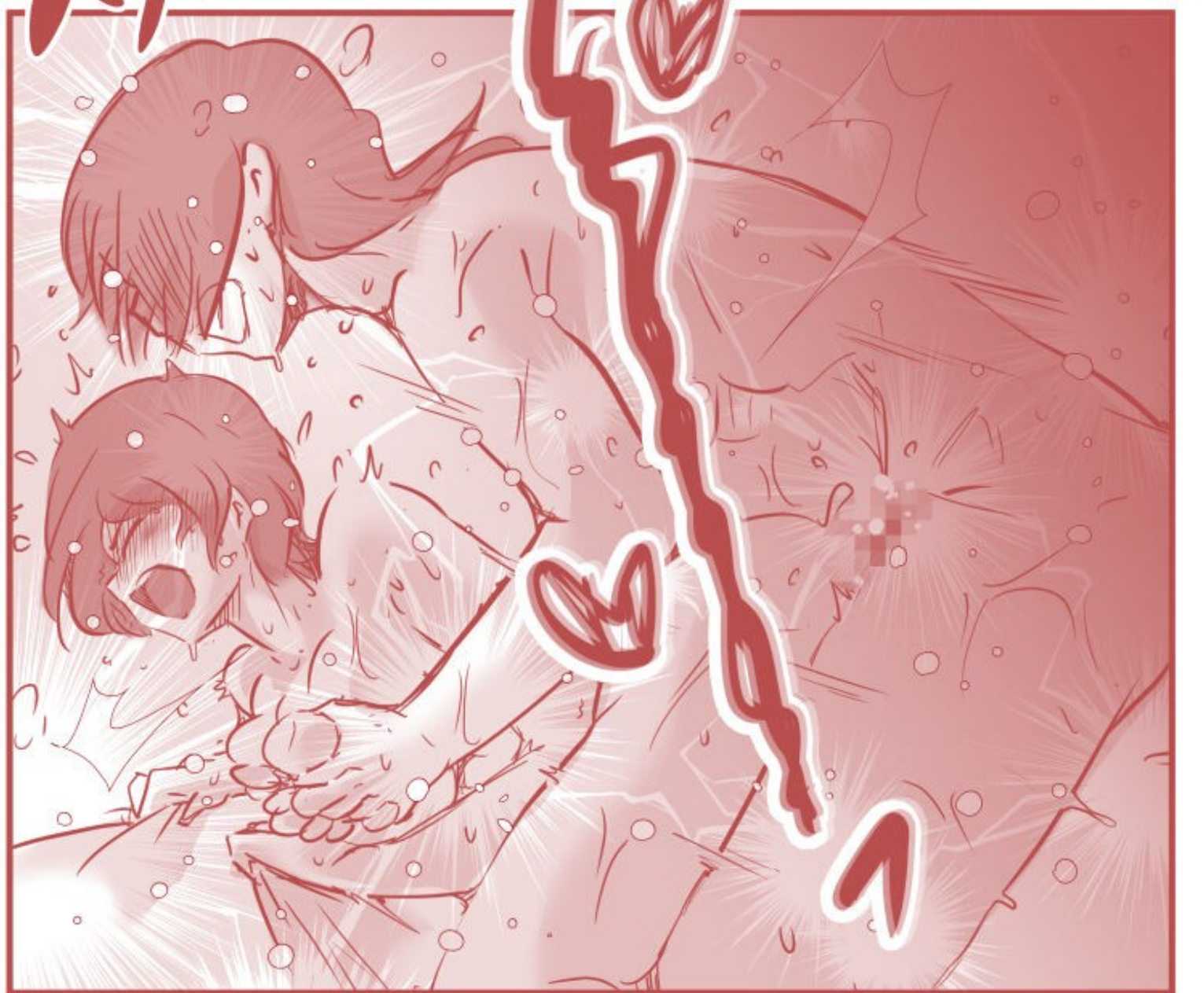
はやく……

入れてっ!

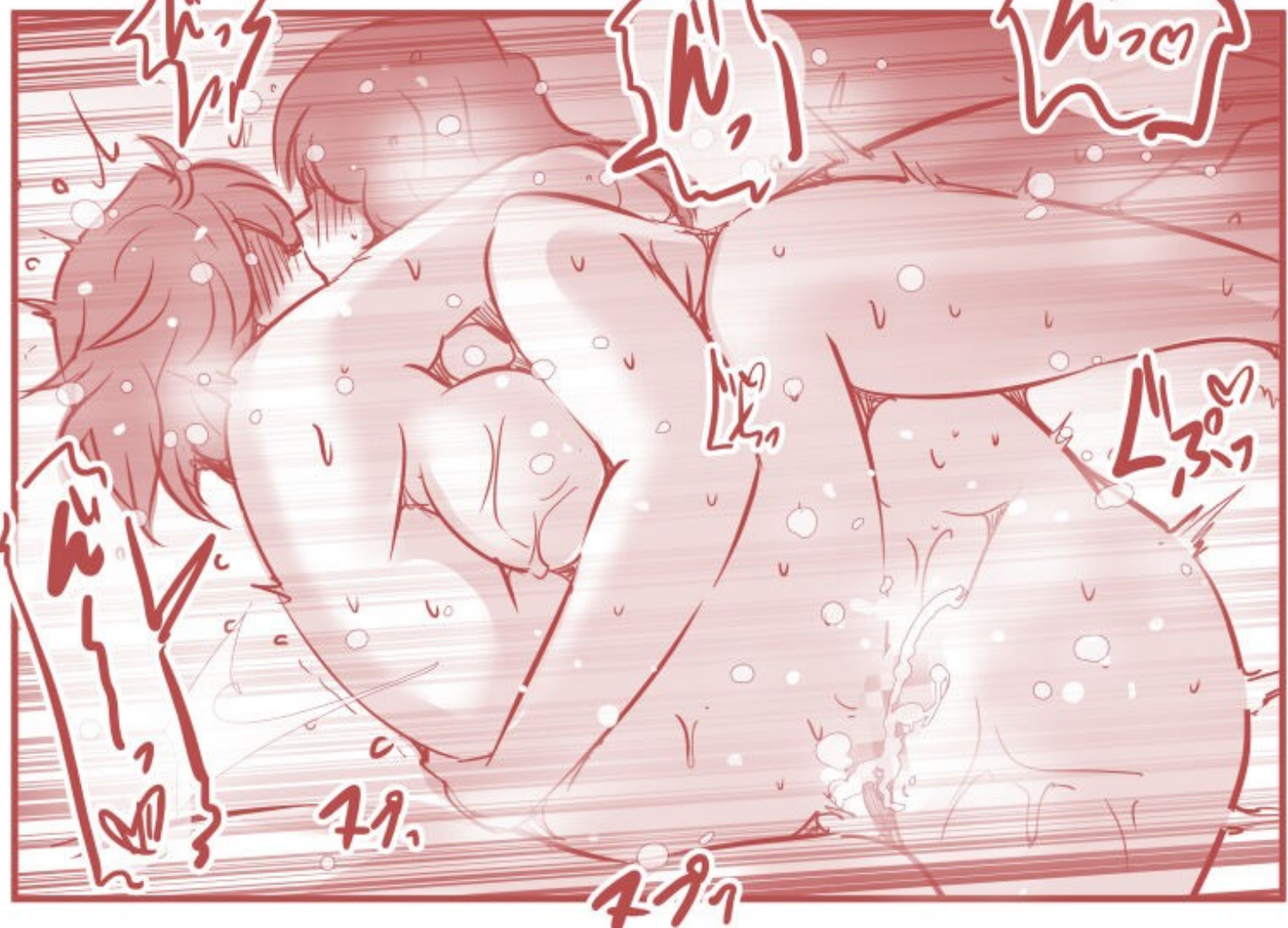
あっ!
違うのお……

そのまま
「ぐっ」て……

「ぐっ」て……









何度も突かれ
何度もイカされ

私が溶かされていく……

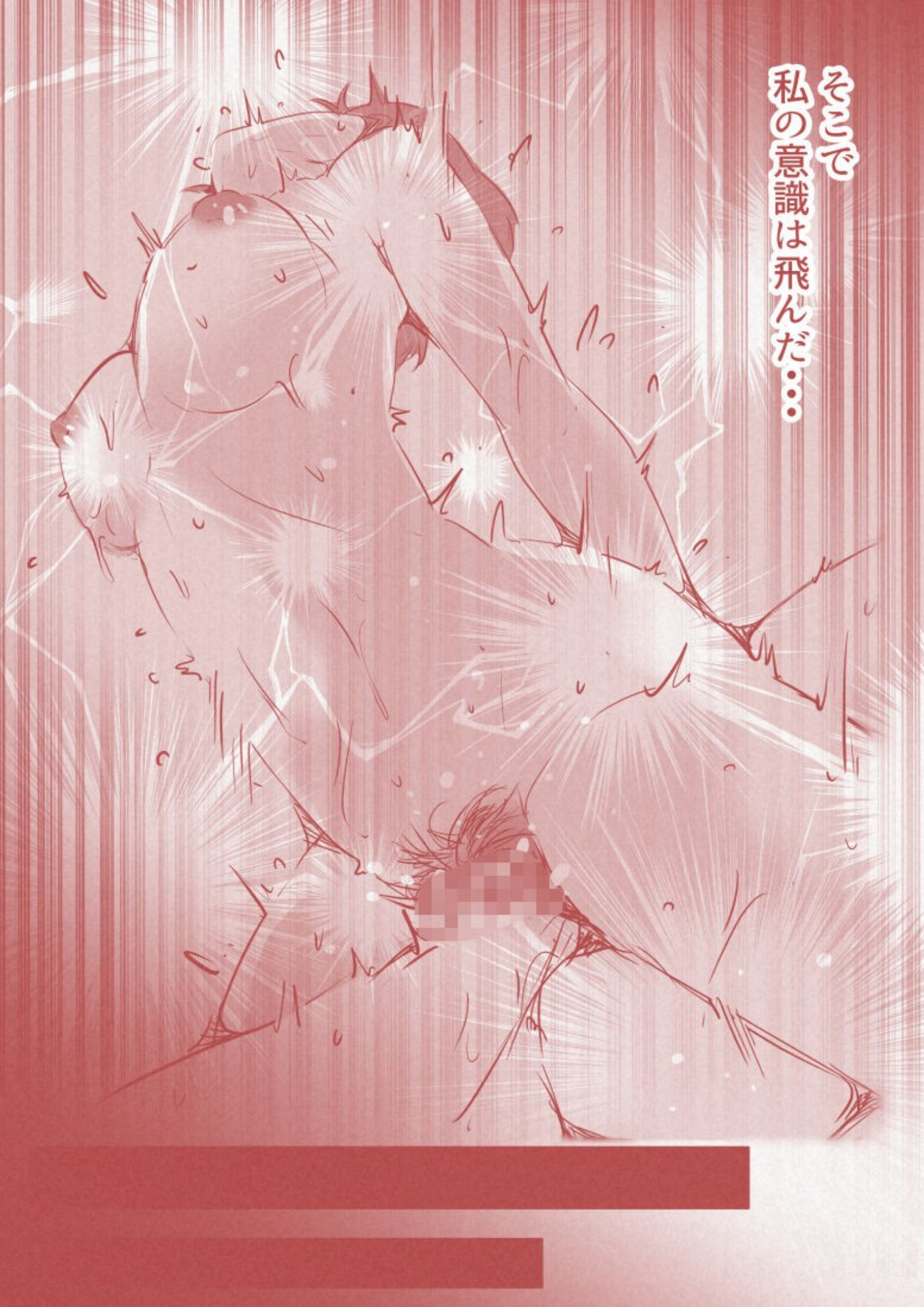
記憶も視界も
あいまいになり

彼の声も
自分の声も……

打ち付ける
肉体の衝撃すら
遠くにいる
感覚だったのに……

その全てが
一気に自分へ
快樂の光となって
押し寄せて……

そこで
私の意識は飛んだ……



体が痺れて動かない。。。
ふわふわ。。。

頭がぼーっとする。。。
眠くなってきた。。。



心配しないで
下さい



何も
よし子さんの
家庭を
壊そうなんて
考えていません

必要になった
時にだけ
来たらいい



外では触れず

関係は
この画廊の
中のみ

やめなきや……
こんなこと

大人の
付き合いで……

ボクは
ただ、綺麗な
よし子さんが
描きたいだけ

やめなきや……

その後のことは
オマケの
ようなものと
考えれば良いんです



何度距離を置いても
結局戻ってしまおう……

続けていれば
いつかは
悲しい終わりが
待っている……

待っているのよね……





私は今日も...

おわり